

令和8年度第1回岡山支部評議会

令和7年度決算（見込み）について



令和8年7月17日
全国健康保険協会岡山支部

1. 協会けんぽ(医療分)の 2025年度決算(見込み)の内訳

(単位:億円)

		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		決算	(前年度比)	決算見込み	(前年度比)
収入	保険料収入	106,490	(+3,492) <3.4%>	110,546	(+4,057) <3.8%>
	国庫補助等	11,690	(▲1,184)	12,383	(+693)
	その他	346	(+113)	477	(+132)
	計	118,525	(+2,421) <2.1%>	123,406	(+4,881) <4.1%>
支出	保険給付費	72,552	(+1,040) <1.5%>	75,369	(+2,818) <3.9%>
	[医療給付費]	[65,354]	(+812)	[67,793]	(+2,439)
	[現金給付費]	[7,198]	(+228)	[7,577]	(+379)
	拠出金等	36,195	(▲1,030) <▲2.8%>	37,829	(+1,634) <4.5%>
	[前期高齢者納付金]	[12,863]	(▲2,458)	[12,938]	(+75)
	[後期高齢者支援金]	[23,332]	(+1,429)	[24,891]	(+1,559)
	その他	3,193	(+487)	3,413	(+220)
	計	111,939	(+497) <0.4%>	116,611	(+4,672) <4.2%>
単年度収支差		6,586	(+1,923)	6,795	(+209)
準備金残高		58,662	(+6,586)	65,457	(+6,795)
保険料率		10.00%	(±0.0%)	10.00%	(±0.0%)

< 協会会計と国の特別会計との合算ベース >

	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度
平均標準報酬月額 <被保険者1人当たり>	30.9 (+1.6%)	31.5 (+1.8%)

	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度
被保険者数	2,558.5 (+1.7%)	2,604.4 (+1.8%)

注) 年度平均の数値

	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度
1人当たり保険給付費 <加入者1人当たり>	18.3 (+1.2%)	18.9 (+3.5%)
(再掲) [1人当たり医療給付費]	[16.5] (+1.0%)	[17.0] (+3.3%)

	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度
加入者数	3,964.9 (+0.2%)	3,980.2 (+0.4%)

扶養率	0.550	0.528
-----	-------	-------

注) 年度平均の数値

ポイント
1

ポイント
2

ポイント
3

【用語解説】前期高齢者納付金
前期高齢者（65-74歳）の医療費負担のバランスをとるため、被用者保険と国民健康保険で財政調整を行い負担する制度。

【用語解説】後期高齢者支援金
後期高齢者（75歳以上）の医療費を賄うため、協会けんぽや健康保険組合等が負担する制度。

※ 2025年度における法令で義務付けられた準備金（保険給付費等の1か月分相当）は9,073億円。

2025年度末の準備金残高は保険給付費等に要する費用の7.2ヶ月分に相当。

※ 端数処理のため、計数が整合しない場合がある。また、数値については今後の国の決算の状況により変動し得る。

2. 協会けんぽ（医療分）の2025(R7)年度決算見込みのポイント

【ポイント1】

収入は12兆 3,406億円

▮ 前年度比4,881億円の増加
(+4.1%)

①被保険者数及び賃金の増加による保険料収入の増加 前年度比 +4,057億円

- ・被保険者数及び賃金（賞与含む）の増加が主な要因。
- ・被保険者数が前年度比+1.8%、標準報酬月額伸び+1.8%

②国庫補助等の増加 前年度比 +693億円

- ・保険給付費等の伸びに応じた保険給付費等補助金の増加が主な要因。

【ポイント2】

支出は11兆6,611億円

▮ 前年度比4,672億円の増加
(+4.2%)

①保険給付費の増加 前年度比 +2,818億円

- ・加入者1人当たり医療給付費の増加が主な要因。（+3.5%）

②拠出金等の増加 前年度比 +1,634億円

- ・後期高齢者支援金の増加が主な要因。

【ポイント3】

収支差は6,795億

▮ 前年度比209億円の増加

※2025年度末の準備金残高は
6兆5,457億円（法定準備金
の7.2カ月分相当）

①保険料収入等による収入の増加（前年度比+4,881億円）が保険給付費や後期高齢者支援金等による支出の増加（同+4,672億円）を上回ったことにより、単年度収支差は前年度比で209億円の増加。

②協会けんぽの今後の財政については、以下について留意が必要。

- ・当面、賃上げ等により標準報酬月額の増加は見込まれるが、現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測困難。
- ・加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等による保険給付費の継続的な増加が見込まれる。
- ・団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより後期高齢者支援金の中長期的に高い負担額のまま推移する見込み。
- ・2026年5月成立の健康保険法の改正により、2026年度からの3年間、特例的な時限措置として国庫補助が追加で500億円/年減額。
- ・加入者の健康づくりへの取組を推進する観点から、2026年度より人間ドックへの補助等を開始。今般の改正により協会けんぽが取り組む保健事業に関する責務が明確化されたことも踏まえ、今後とも取組をさらに推進していく予定。
- ・医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026年度診療報酬改定において、診療報酬（本体部分）の改定率が3.09%（2026年度：+2.41%、2027年度：+3.77%）と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映される。

3. 決算の推移

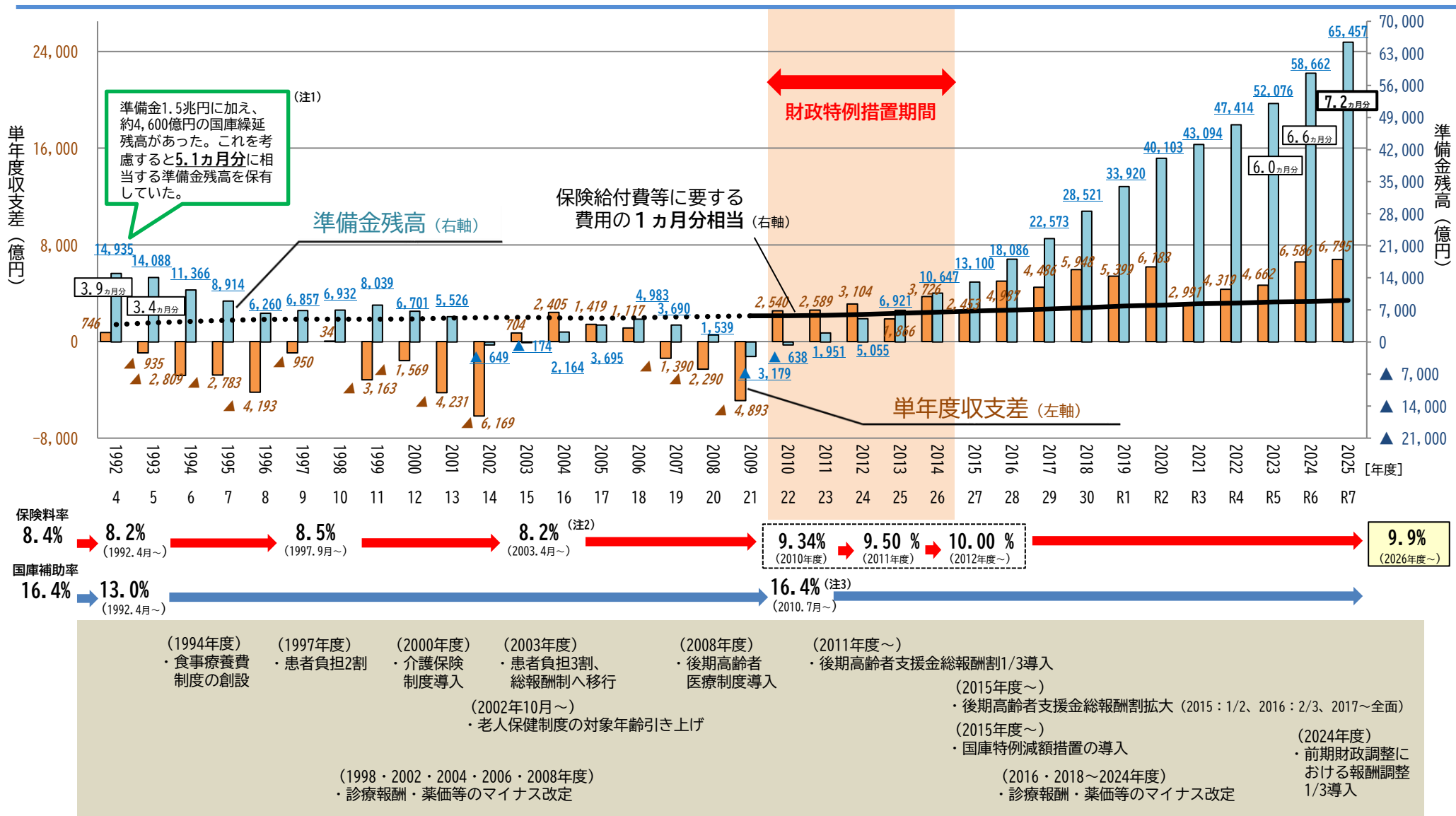
< 協会会計と国の特別会計との合算ベース >

(単位:億円)

		2008 (H20)年度	2009 (H21)年度	2010 (H22)年度	2011 (H23)年度	2012 (H24)年度	2013 (H25)年度	2014 (H26)年度	2015 (H27)年度	2016 (H28)年度	2017 (H29)年度	2018 (H30)年度	2019 (R1)年度	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度 (見込み)
収入	保険料収入	62,013	59,555	67,343	68,855	73,156	74,878	77,342	80,461	84,142	87,974	91,429	95,939	94,618	98,553	100,421	102,998	106,490	110,546
	<伸び率>	<▲1.1%>	<▲4.0%>	<13.1%>	<2.2%>	<6.2%>	<2.4%>	<3.3%>	<4.0%>	<4.6%>	<4.6%>	<3.9%>	<4.9%>	<▲1.4%>	<4.2%>	<1.9%>	<2.6%>	<3.4%>	<3.8%>
	国庫補助等	9,093	9,678	10,543	11,539	11,808	12,194	12,559	11,815	11,897	11,343	11,850	12,113	12,739	12,463	12,456	12,874	11,690	12,383
	その他	251	501	286	186	163	219	1,134	142	181	167	182	645	293	264	217	233	346	477
計		71,357	69,735	78,172	80,580	85,127	87,291	91,035	92,418	96,220	99,485	103,461	108,697	107,650	111,280	113,093	116,104	118,525	123,406
<伸び率>		<0.4%>	<▲2.3%>	<12.1%>	<3.1%>	<5.6%>	<2.5%>	<4.3%>	<1.5%>	<4.1%>	<3.4%>	<4.0%>	<5.1%>	<▲1.0%>	<3.4%>	<1.6%>	<2.7%>	<2.1%>	<4.1%>
支出	保険給付費	43,375	44,513	46,099	46,997	47,788	48,980	50,739	53,961	55,751	58,117	60,016	63,668	61,870	67,017	69,519	71,512	72,552	75,369
	<伸び率>	<1.6%>	<2.6%>	<3.6%>	<1.9%>	<1.7%>	<2.5%>	<3.6%>	<6.3%>	<3.3%>	<4.2%>	<3.3%>	<6.1%>	<▲2.8%>	<8.3%>	<3.7%>	<2.9%>	<1.5%>	<3.9%>
	〔医療給付費〕	[38,572]	[39,415]	[40,912]	[41,859]	[42,801]	[44,038]	[45,693]	[48,761]	[50,401]	[52,652]	[54,433]	[57,693]	[55,740]	[60,598]	[62,723]	[64,542]	[65,354]	[67,793]
	〔現金給付費〕	[4,803]	[5,098]	[5,188]	[5,138]	[4,987]	[4,941]	[5,046]	[5,199]	[5,350]	[5,464]	[5,583]	[5,975]	[6,130]	[6,419]	[6,796]	[6,970]	[7,198]	[7,577]
	拠出金等	29,016	28,773	28,283	29,752	32,780	34,886	34,854	34,172	33,678	34,913	34,992	36,246	36,622	37,138	35,867	37,224	36,195	37,829
	<伸び率>	<1.0%>	<▲0.8%>	<▲1.7%>	<5.2%>	<10.2%>	<6.4%>	<▲0.1%>	<▲2.0%>	<▲1.4%>	<3.7%>	<0.2%>	<3.6%>	<1.0%>	<1.4%>	<▲3.4%>	<3.8%>	<▲2.8%>	<4.5%>
	〔前期高齢者納付金〕	[9,449]	[10,961]	[12,100]	[12,425]	[13,604]	[14,466]	[14,342]	[14,793]	[14,885]	[15,495]	[15,268]	[15,246]	[15,302]	[15,541]	[15,310]	[15,321]	[12,863]	[12,938]
	〔後期高齢者支援金〕	[13,131]	[15,057]	[14,214]	[14,652]	[16,021]	[17,101]	[17,552]	[17,719]	[17,699]	[18,352]	[19,516]	[20,999]	[21,320]	[21,596]	[20,556]	[21,903]	[23,332]	[24,891]
	〔老人保健拠出金〕	[1,960]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[0]	[0]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
	〔退職者給付拠出金〕	[4,467]	[2,742]	[1,968]	[2,675]	[3,154]	[3,317]	[2,959]	[1,660]	[1,093]	[1,066]	[208]	[2]	[1]	[1]	[1]	[0]	[0]	[-]
	〔病床転換支援金〕	[9]	[12]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	その他	1,257	1,342	1,249	1,243	1,455	1,559	1,716	1,832	1,805	1,969	2,505	3,383	2,974	4,134	3,388	2,705	3,193	3,413
計		73,647	74,628	75,632	77,992	82,023	85,425	87,309	89,965	91,233	94,998	97,513	103,298	101,467	108,289	108,774	111,442	111,939	116,611
<伸び率>		<1.7%>	<1.3%>	<1.3%>	<3.1%>	<5.2%>	<4.1%>	<2.2%>	<3.0%>	<1.4%>	<4.1%>	<2.6%>	<5.9%>	<▲1.8%>	<6.7%>	<0.4%>	<2.5%>	<0.4%>	<4.2%>
単年度収支差		▲2,290	▲4,893	2,540	2,589	3,104	1,866	3,726	2,453	4,987	4,486	5,948	5,399	6,183	2,991	4,319	4,662	6,586	6,795
準備金残高		1,539	▲3,179	▲638	1,951	5,055	6,921	10,647	13,100	18,086	22,573	28,521	33,920	40,103	43,094	47,414	52,076	58,662	65,457

保険料率	8.20%	8.20%	9.34%	9.50%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%
------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

4. 単年度収支差と準備金残高等の推移



(注) 1. 1996年度、1997年度、1999年度、2001年度は国の一般会計より過去の国庫補助繰延分の返済があり、これを単年度収支に計上せず準備金残高に計上している。
また、2009年度以前は国庫補助の清算金等があった場合には、これを単年度収支に計上せず準備金残高に計上している。

2. 2003年度は総報酬制（賞与に対しても標準報酬（月収）と同様に保険料を賦課）が導入されたことに伴い保険料率の見直しが行われている。
それまでの標準報酬ベースの8.5%は、総報酬ベースでは7.5%に相当していたが、8.2%（実質引上げ）とされた。

3. 2010年度～2014年度までの国庫補助率16.4%については財政特例措置期間におけるものとして時限的に対応されていたが、2015年度の健康保険法改正において16.4%で実質恒久化され、併せて準備金残高が法定準備金を超えて積み上がっていく場合に新たな超過分の国庫補助相当額を翌年度減額する国庫特例減額措置が設けられた。

5. 岡山支部と全国の収支差（地域差分）の保険料率換算について

※協会会計と国の特別会計との合算ベース

(単位：百万円)

	収入計	支出計	収支差※		
			計		
				全国平均分	地域差分
岡山支部	186,416	175,019	(A) 11,398	(B) 11,217	(C) 180
全国計	11,101,881	10,422,374	679,508	679,508	－

※令和7年度の都道府県単位保険料率は、2年前の令和5年度の実績の医療費や総報酬額をもとに収支を見込んだうえで算定していますが、支部別収支の収支差は、医療費等が料率算定時の見込みからどの程度乖離したかを表したものになっている。

【岡山支部】地域差分（収支差）は+1億8千万円であるため、
令和9年度保険料率算定時の **収入に1億8千万円が加算**されます。

- (A) 収支差：収入と支出の差
- (B) 全国平均分（収支差）：全国収支差の合計を総報酬按分したもの
- (C) 地域差分（収支差）：岡山支部の収支差計－全国平均分（収支差）

※地域差分は、加入者1人当たり医療給付費の全国平均との差の実績が保険料率算定時の見込みから乖離した影響を表す。

保険料率への影響

2027（R9）年度の保険料率の算定においては、**0.01%程度※引き下げの要因**となります。

※令和7年度の総報酬額の実績に基づく参考値であり、実際の値と異なる場合があります。